

会員各位

一般社団法人 徳島県歯科衛生士会
会 長 河野美枝子
学術理事 中江・高石

令和5年度 第3回徳島県歯科衛生士会 生涯学習(専門研修)のご案内 (日本歯周病学会 第 101 回歯科衛生士教育講演)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件、下記の通り開催いたします。ぜひご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : 令和5年11月26日(日)10:00~15:10

場 所 : ふれあい健康館 第一会議室(徳島市沖浜東2-16)

演 題 : ①「咬合や力に関する知識とアプローチ ~力のコントロールについての基本知識~」
②「歯周基本治療に活かすスケーリングプロセスとテクニック」

講 師 : ① 荒川 真一 先生(東京医科歯科大学大学院 生涯口腔保健衛生学分野 教授)
② 荒木 美穂 先生(朝日大学歯科衛生士専門学校 専任教員)

研修単位 : 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修に基づく専門研修単位【歯周治療の基本技術】

Ⅲ. 口腔衛生指導と生活習慣指導 2単位

V. 歯周治療の補助に必要な知識と技術 2単位

*日本歯科衛生士会 認定更新指定研修

日本歯周病学会 認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位 8単位

更新時の生涯研修単位 10単位

定 員 : 50名

受講料 : 日本歯科衛生士会会員および日本歯周病学会会員 1,000 円
会員外 5,000 円

*お申込み後に受講料の振込案内メールをお送りします。

受講料の入金確認ができましたら、申し込み完了となります。

【申込方法】

(1)二次元コード: 右のコードをスマートフォン等で読み込み申込フォームに登録する。

(2) URL: <https://forms.office.com/r/Finrusiz0h>

ウェブブラウザに上記URLを入力し、申込フォームに登録する。

【申込期限】 令和5年11月12日(日)

*定員になり次第、締め切らせていただきます。



研修会お申込み・お問い合わせ ⇒ 徳島県歯科衛生士会 研修担当 Mail:t-dh-b8020@outlook.jp

研修以外のお問い合わせ ⇒ 徳島県歯科衛生士会 事務局 TEL&FAX 088-677-8014

Mail t-dh-a8020@ion.ocn.ne.jp

演 題 ①「咬合や力に関する知識とアプローチ ～力のコントロールについての基本知識～」

生涯研修カテゴリー III. 口腔衛生指導と生活習慣指導 E. 咬合や力に関する知識とアプローチ(悪習癖の改善等)

【抄 録】

歯周病と咬合力の関りについて、咬合力は健康な歯周組織の破壊は引き起こさないが、歯周病罹患歯に対する咬合性外傷は共同破壊因子として作用することがあるとされている。(Lindhe 臨床歯周病学、岡本 浩監訳、1986)。また、外傷性因子は、歯周病のリスク因子のなかで宿主因子→局所的因子の一つとされている。したがって、歯周治療においてはプラークコントロールとともにフォースコントロール、すなわち力のコントロールも必要である。本講演では、咬合と歯周病のかかわり、さらには習癖の対応として、SaMD の歯科への応用：歯科におけるデンタルソリューションについても紹介できればと考えている。

【荒川 真一先生 ご略歴】

1980 年 東京医科歯科大学歯学部入学

1986 年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1990 年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了 歯学博士号取得

荒川歯科医院を開設 東京医科歯科大学歯学部非常勤講師

1992 年～1994 年 テキサス大学、ニューヨーク州立大学に留学

1994 年 東京医科歯科大学歯学部第2保存学教室医員 法務省法務技官医療職

1998 年 東京医科歯科大学歯学部助手

2012 年 東京医科歯科大学大学院 生涯口腔保健衛生学分野 教授

2015 年 東京医科歯科大学歯学部附属病院口腔ケア外来診療科長

2017 年～2022 年 東京医科歯科大学歯学部口腔保健衛生学専攻 専攻長

2021 年 東京医科歯科大学病院口腔健康管理科 診療科長

資格 特定非営利活動法人 日本歯周病学会 常任理事・認定医、口腔病学会 理事

全国歯科衛生士教育協議会 理事、日本口腔機能水学会 常任理事・指導医、日本機能水学会 評議員

日本機能水研究振興財団 理事、ファインバブル産業会(FBIA)医療技術応用委員会 副委員長

演 題 ②「歯周基本治療に活かすスケーリングプロセスとテクニック」

生涯研修カテゴリー V. 歯周治療の補助に必要な知識と技術 A. 歯周基本治療について

目的、治療の実際、咬合治療、抗菌療法等

【抄 録】

歯周治療において、歯周組織検査を含めた情報収集とスケーリングプロセスに基づいた技術によって、その後の長期継続管理の効果が得られます。また、その技術は確かな歯周病の病因論に則り実行する事も必要です。本研修会では、歯周治療の標準的な進め方に沿った歯科衛生士の適切な対応、特にスケーリングプロセスについて解説いたします。

【荒木 美穂先生 ご略歴】

1994 年～朝日大学歯科衛生士専門学校 専任教員

2007 年 日本福祉大学経済学部卒業

2007 年 日本歯周病学会認定歯科衛生士取得

2009 年 日本歯科衛生士会生活習慣病予防(食生活改善指導)コース 認定取得

2019 年 昭和大学大学院保健医療学研究科修了

学会活動 日本歯周病学会評議員、歯科衛生士関連委員、歯科衛生教育学会理事